

補助事業番号 2024M-214
補助事業名 2024年度 福祉機器の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 晴幸福社会

1 補助事業の概要

現在の当法人運営は、創立31年目を迎え老朽化が進む設備や建物の修繕費の負担が大きくなっている。現在使用している機器は、導入後12年超でメーカーから保守終了の通告を受けているうえ、本体と椅子の連結が悪くなっており利用者と職員の双方に身体的負担がのしかかっていた。新機種は利用者にとって安全・安心して入浴支援を受けることができるうえ、職員にとっても労力負担軽減特に腰部への負担軽減が見込まれた。そこで特殊浴槽設備を2024年福祉機器整備補助事業で計画的に整備した。

令和6年4月24日第1回機種選定委員会を開催し、座位入浴式特殊浴槽3種を決定した。4月25日見積書依頼と提出開始し、5月10日見積書提出締め切り、当日第2回機種選定委員会を開催した。その結果、植村医療器(株) 酒井医療器(株)CATTLEYAの導入を決定した。5月23日植村医療器(株)と契約を締結した。9月18日納品・検収、9月20日支払い完了した。

9月18日～10月15日までの間で延べ121名の利用者が当該機器を利用した。そして、介護職員の介護労働負担に関するアンケート調査を10月1日職員10名に実施した。結果は、介護労働負担が大変軽減したと答えた職員は100%だった。自由記述によるコメントは以下のとおりである。1. 当該機器にあるバブルバス機能にご利用者が大変喜んでいただいた。2. 椅子の重量が軽くなり、労働負担軽減となった。3. 椅子がフルリクライニングとなり、利用者の背部から臀部にかけて洗いやすくなった。4. 椅子に新たにサイドサポートが設置されたことによりご利用者の安全性が高まった。これは意見交換の時も同様の内容を聞くことができた。

以上、機器の一週間平均利用者数は30.2名という結果を得た。更に、ご利用者のリラックス効果と安全性の向上、長期的な介護職員の労働負担特に腰部の負担軽減の成果が期待できるものである。

2 予想される事業実施効果

延べ利用者数 30～60名/週 程度が利用する。利用者はADLに合致した入浴機器を使用できる。利用者に身体の清潔保持の継続と定期的な心身のリラックス効果を今後ももたらすことができる。また、最新機器なので安心・安全に入浴支援を受けることができる。

職員は、当該機器の操作がしやすさが長期的な労働負担軽減繋がることが予想される。

3 本事業により導入した機器

① 特殊浴槽 (<https://shinjyouen.com/>)

酒井医療器(株) カトリア浴槽 CTA-200 気泡浴装置 CTA-10 入浴用車いす BWC-165



設置場所：【特別養護老人ホーム ウォームヴィラ新庄園 浴室】

② 本事業に係る印刷物等

ホームページ <https://shinjyouen.com/>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人晴幸福社会

(シャカイフクシホウジンセイコウフクシカイ)

住所： 〒369-2136 奈良県葛城市平岡528

代表者： 理事長 上田麻子 (ウエダアサコ)

担当部署： 特別養護老人ホーム

担当者名： 施設長 森本潤哉 (モリモトジュンヤ)

電話番号： 0745-63-1150

F A X： 0745-63-1156

E-mail： shinjyouen@yahoo.co.jp

U R L： <https://shinjyouen.com/>